

レイニンQuickFlow™

人間工学に基づいた吸引システム



METTLER TOLEDO

レイニンQuickFlow

便利かつトラブルなしの操作

- 連続、非連続フロー
- 光学式液面センサー
- 様々なアダプター
- 簡単な洗浄

目次

1	ボックスの内容	3
2	安全性	5
	2.1 電気システムの安全性	5
	2.2 一般的な安全性.....	6
3	はじめに	6
	3.1 デバイスと液体の互換性.....	7
4	設定	8
	4.1 ワークスペースの準備	8
	4.2 出荷用箱の確認.....	8
	4.3 QuickFlowの開梱	8
	4.4 QuickFlowの組立て	9
	4.5 ハンドルの組立て	11
5	操作方法	13
	5.1 連続または非連続吸引の選択	13
	5.2 QuickFlowの電源オン	14
	5.3 速度の調節	14
	5.4 ボトル満杯: レベルセンサーと液体レベルアラート	15
	5.5 チップの取出しまたはパストゥールピペットの取外し	15
6	清掃とメンテナンス	16
	6.1 ボトルを空にする.....	16
	6.2 ボトルとキャップのクリーニング.....	17
	6.3 真空チューブのクリーニング	17
	6.4 オートクレーブ	18
7	交換部品とアクセサリ	18
	7.1 フィルター (青色真空インレットチューブ)	18
	7.2 ハンドルハンガアップ	18
8	仕様	19
9	トラブルシューティング	20
10	互換性のない液体と物質	21
11	注文情報	21
12	保証	22

レイニンPipetting 360とTerraRackは、Mettler-Toledo Rainin, LLC社の登録商標です。
©2018 Mettler-Toledo Rainin, LLC. このマニュアルのいかなる部分も、Mettler-Toledo Rainin, LLC社の明示的な書面による許可なしに複写することはできません。

1 ボックスの内容

出荷用箱

- a. ベースユニット
- b. 4リットルの収集ボトル
- c. クイックコネクターヘッド付きの
ボトルキャップ
- d. クローズドトップ付きのボトル
キャップ
- e. ボトルキャリヤプレート
- f. エアフロー用インレットチューブ
(青色)
- g. 真空チューブ用のクイックコネ
クタープラグ (オレンジ)
- 備考: 真空チューブ (透明) は、
ハンドルキットの一部です。次の
ページを参照
- h. 電源
- i. 電源アダプター (4)
- j. クイックリファレンスガイド
- k. ハンドルキット/内箱 (詳細は
次ページを参照)

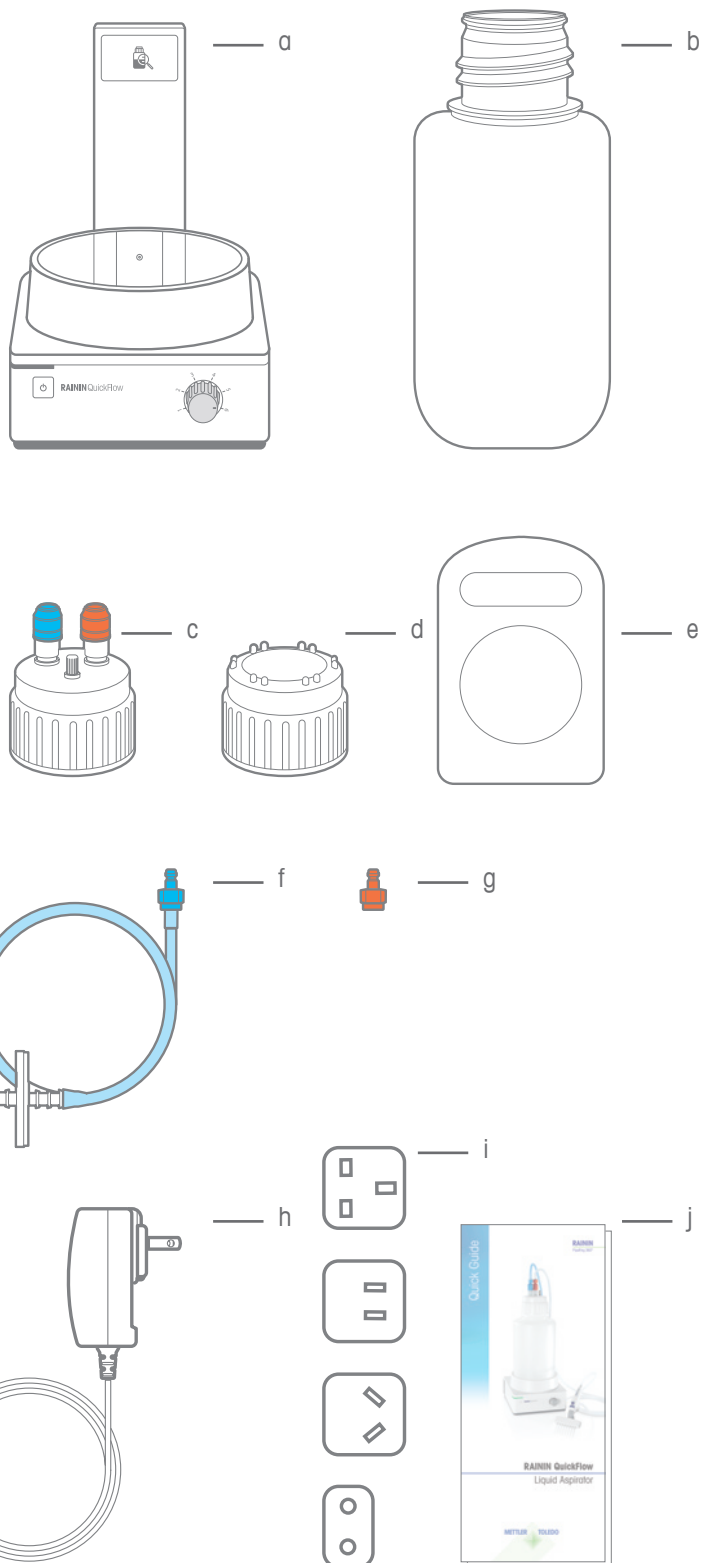


図1: QuickFlowの出荷用箱の内容

内箱 (ハンドルキット)

- d. ハンドル
- b. シングルチップアダプター
- c. マルチチップアダプター
- d. パスツールピペットアダプター (ガラス/プラスチック)
- e. 真空チューブ (透明)
- f. ハンドルハンガアップ (ハンドルの安全な保管用)
- g. 予備のOリング
- h. クイックリファレンスガイド

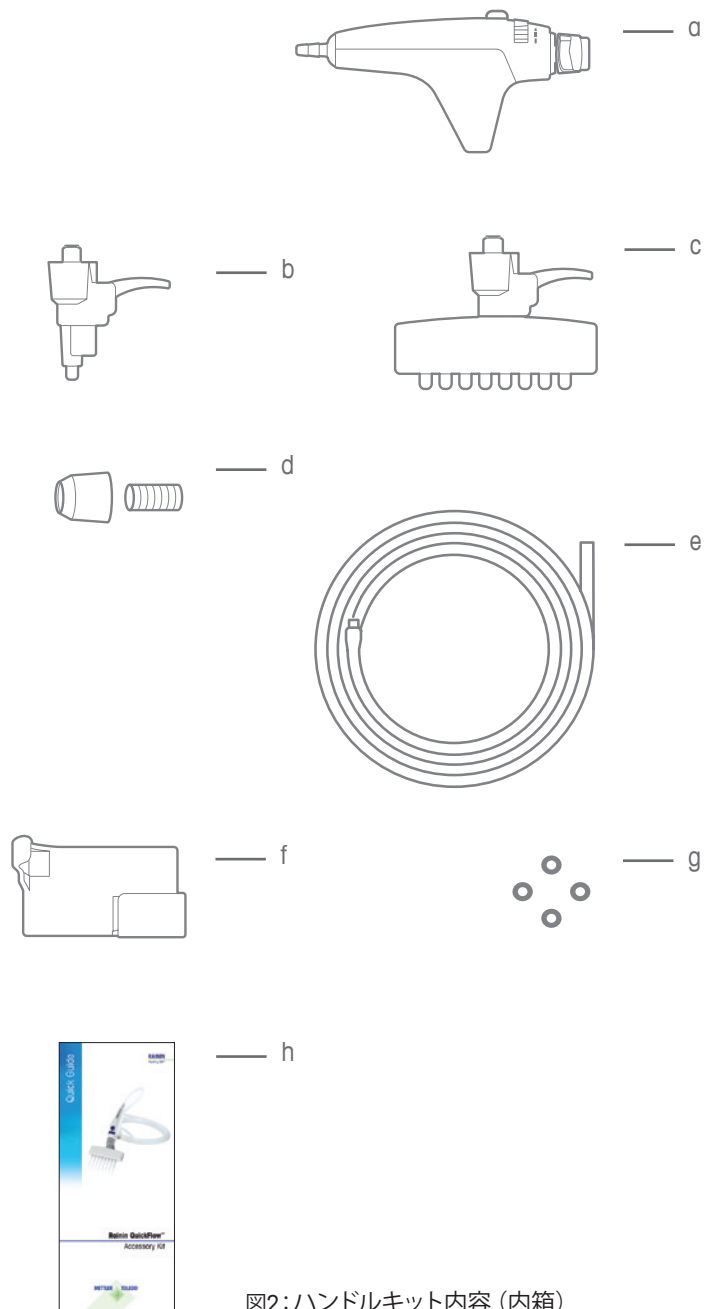


図2:ハンドルキット内容 (内箱)

2 安全性

レイニンQuickFlowを設置または使用する前に、すべての安全警告事項をお読みください。必ずこのユーザマニュアルに従いQuickFlowをご使用ください。本マニュアルは、次のサイトでダウンロード可能ですのでご利用ください。 www.mt.com/quickflow-manual。

安全注意事項には注意喚起（注意を促す語）およびアイコンを付けてあります。これは安全事項および警告を表しています。安全上の注意を疎かにすると、機器の損傷、故障および信頼できない測定結果や怪我の要因となります。

このマニュアルで使用する安全用語

警告: 回避しないと、重度の事故や重傷または死亡事故を招く恐れがある場合や、中程度の危険性を伴う状況、並びに、機器や研究室への損害の恐れに対して発せられます。

注意: 回避しないと、機器や研究室への損害、データの喪失を恐れがある軽度のリスクを伴う危険状態や、低または中程度の人身傷害の恐れに対して発せられます。

注目または注記（シンボルなし）: 製品について有益または重要な情報です。

このマニュアルで使用する安全シンボル



一般的な危険性



感電の危険あり



手の負傷



爆発の危険性あり

2.1 電気系統の安全性



警告

感電の危険性を減らす:

- QuickFlowを電源に接続するときは、必ず付属の電源コードを定格電源電圧で使用してください。決して電源コードを改造したり、アースされていないコンセントに接続したりしないでください。電源の詳細については、19ページ（仕様）を参照してください。
- 機器を開けないでください。ユーザーが修理できる部品はありません。支援が必要な場合は、資格のあるサービス担当者にお問い合わせください。注記: QuickFlowの設置は、緊急の場合に電源コンセントから簡単に外せる場所にしてください。

本製品は、このマニュアルの説明どおりにのみ使用してください。製造元が指定していない方法で機器を使用すると、機器の保護機能が損なわれる可能性があります。

注記: オーバーフローによる感電を防ぐため、電源アダプターを機器から遠ざけてください。

2.2 一般的な安定性

警告



満杯の収集ボトルをQuickFlowベースユニットから持ち上げるときは、両側からキャリングプレートをつかみ、正しい持ち上げ手順に従ってください。満杯の収集ボトルの重さは約5 kgです。

QuickFlowを使用するときは、必ず顔や体を吸引チップやピペットから遠ざけてください。

注意



必ず安全性試験基準に従って使用してください。QuickFlowを使用するときは、個人用保護具 (PPE) を着用してください。

収集ボトルが満杯になったときは、QuickFlowを動かさないでください。機器を移動する前に、必ず収集ボトルを空にしてください。

QuickFlowを強酸、塩基、またはその他の刺激性がある液体と共に使用すると、シール、ノズル、またはその他の部品を損傷する可能性があります。汚染や偶発的な水しぶきは、直ちに除去してください。

3 はじめに

レイニンQuickFlowは、メトラー・トレド社製ベンチトップ型液体アスピレーターシステムです。これは、ライフサイエンスの研究ラボで細胞培養液やその他の一般的に使用される緩衝液を安全かつ効率的に除去するように設計されています。

正確な吸引制御のために、アダプター類は、人間工学に基づいたハンドルにパチンと取付けられます。

吸引は、連続的（常にオン）またはハンドル上のボタンでタッチ動作することもできます。

収集ボトルが満杯になると、ベースユニットに統合された液面センサーがユーザーに警告します。このときポンプは停止し、オーバーフローを防ぎます。

QuickFlowは、実験室での研究だけを目的としています。他の目的に使用された場合、メトラー・トレドはいかなる損害についても責任を負いません。

実際の実験室条件でQuickFlowを使用する前に、特に安全性、セットアップおよび基本操作に関して、このユーザマニュアルをよくお読みください。指示を読み、職場で定義されている標準の操作手順と一般的な安全ガイドラインに従って作業するのは、ユーザーの責任です。

3.1 デバイスと液体の互換性

QuickFlowの液体接触部品は、PVDF（ポリビニリデンジフルオリド）、ポリプロピレン、シリコンゴムなどの材料で作られています。

低濃度（最大30%）の化学物質の例

- 漂白液
- アセトン
- DMSO
- トリクロロエチレン
- クロロホルム
- フェノール

その他の液体も安全に吸引される場合があります。

4 設定

4.1 ワークスペースの準備

理想的な作業スペースは、振動やすきま風から保護され、電源が近くにある清潔で乾燥したベンチです。直射日光は避けてください。

QuickFlowでは、幅約40cm、奥行き約40cmの水平作業台が必要です。重さは約6kg (13.2ポンド)、高さは約51cm (20インチ) です。

電力：QuickFlowには、4つの電源アダプターセットが付属していて、あらゆる地域で操作可能となっています。

注記：QuickFlowを、周期的にオン/オフする冷蔵庫など、大きな電流変動があるデバイスで使用されている電源には接続しないでください。

4.2 出荷用箱の確認

QuickFlowは、1つの大きな箱に入って製造元から出荷されます。箱に損傷の兆候がないかチェックしてください。梱包箱や内容物に損傷がある場合は、メトラー・トレドの顧客サービスまたは販売代理店にご連絡ください。

4.3 QuickFlowの開梱

出荷用箱を開けてください。QuickFlowコンポーネントの最初の層が現れます。

クイックレファレンスガイド、ハンドルキット箱、コネクタ付きキャップを取り出してください。

トップのクッション材を取り除きます。

QuickFlowのベースユニット、チューブ、電源アダプター、電源を取り出してください。

平ら（柔らかい）キャップが付いた空の収集ボトルを取り出します。

出荷用箱は捨てないでください。QuickFlowを輸送する必要がでた場合や、認定修理に出すときに役立ちます。

内容物に不足がある場合は、メトラー・トレドの顧客サービスまたは販売代理店にご連絡ください。

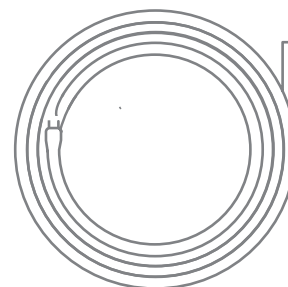
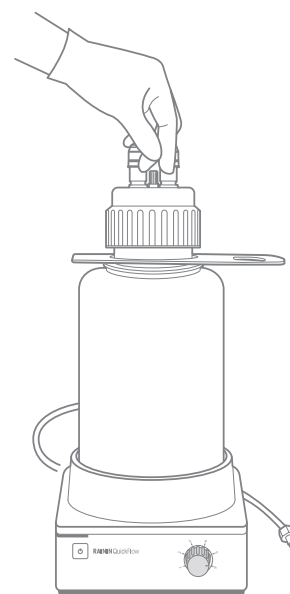
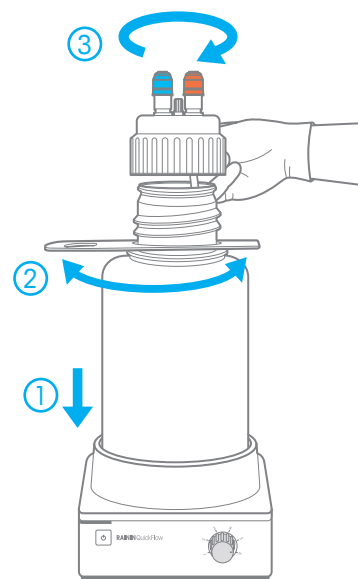
4.4 QuickFlowの組立て

1. ベースユニット上にふたのないボトルを置きます。平らな金属製のキャリングプレートを集集ボトル上部の大きな中央の穴に合わせ、プレートがボトルの肩で止まるまで時計回りに回します。

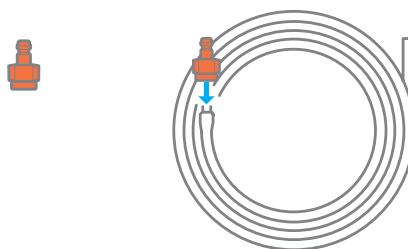
2. クイックコネクターヘッド (オレンジと青) の付いたキャップを集集ボトル上に置き、ボトルがしっかり閉じるまでキャップを時計回りに回します。

3. 青色とオレンジ色のコネクターヘッド間にある灰色の圧力解放バルブを、止まるまで時計回りに回して閉じます。反時計方向に緩めると、圧力開放弁が開きます。

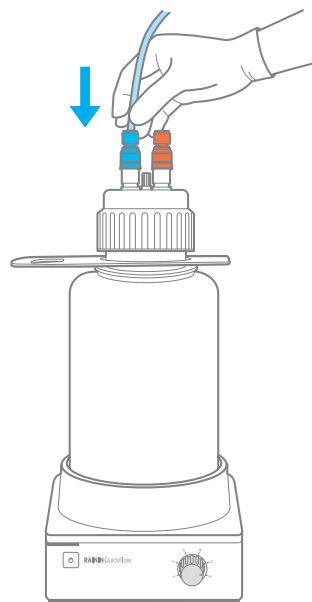
4. ハンドルとアダプターキットを開梱して、透明な真空チューブを取り出します。



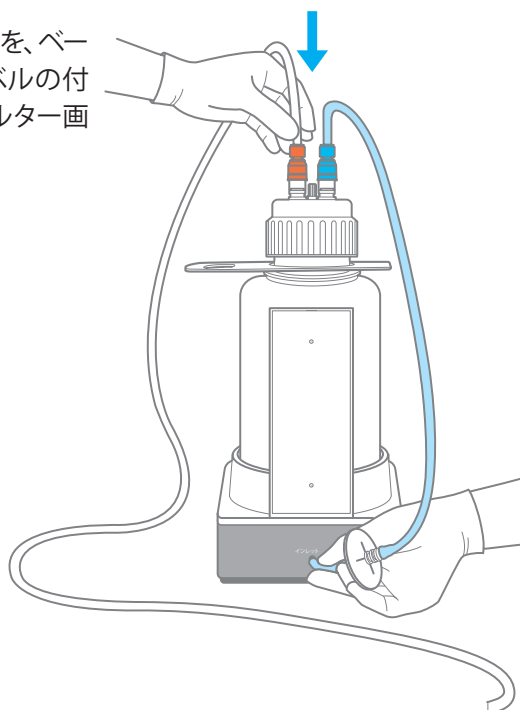
5. オレンジ色のコネクタープラグを透明真空チューブの一方の端に取り付けます。



6. 青いチューブの青いコネクタープラグ側を、しっかりと押し込んで青いコネクタースレッドに取り付けます。透明チューブのオレンジ色のコネクタープラグ側を、しっかりと押し込んでオレンジ色のコネクタースレッドに取り付けます。



7. 青色のエアフローチューブのフィルター側を、ベースユニットの背面にある「Inlet」というラベルの付いたポートにしっかりと押し込みます。フィルター画像は正しいポートを指しています。



4.5 ハンドルの組立て

1. どの程度の長さの透明チューブが、QuickFlowとハンドル（作業端）の間に必要かを決めます。推奨長は、1メートル以上です。

必要な長さのところで、チューブをハサミで垂直に切断します。

2. 透明チューブの開口端を、ハンドルのチューブ接続部の隆起部の上にしかりと完全に押し込みます。

3. （オプション）スプリッター：追加のQuickFlowハンドル、チューブ、およびアダプターを備えたスプリッターは別売です。

QuickFlowは、同時に最大2つの操作チャンネルをサポートします。スプリッターを使用して追加のチューブを接続できます。

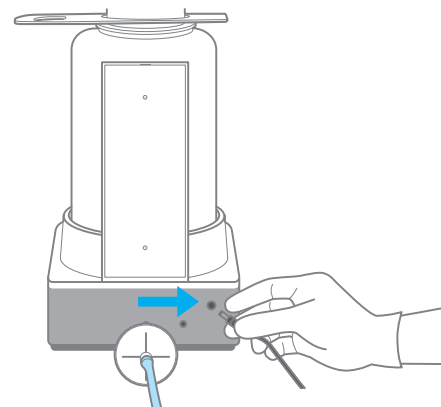
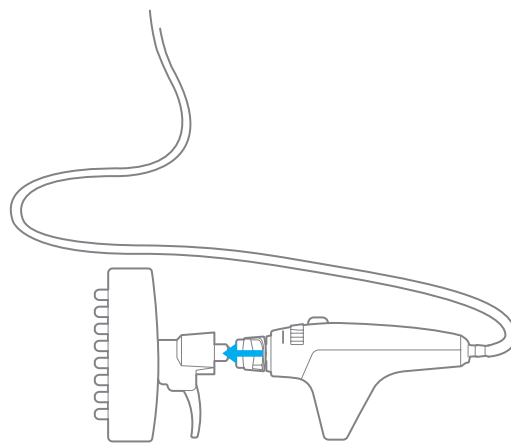
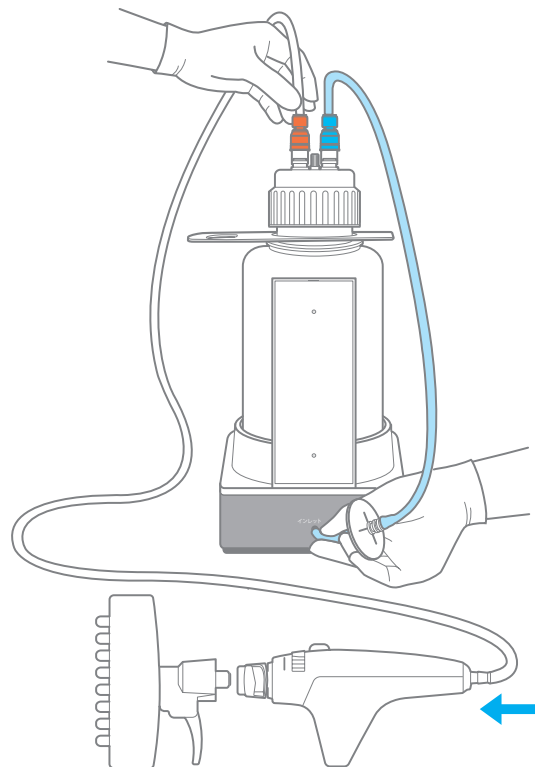
4. QuickFlowには、3種類のハンドルアダプターが含まれています（4ページの図2を参照）。

- シングルチップ
- マルチチップ（8チャンネル）
- ガラス／プラスチックのピペット

パストツールアダプターは、ほとんどのガラス製またはプラスチック製の拡張ピペットチューブに適しています。このアダプターとピペットの組み合わせは、より高い流動容量でより多くの液体を吸引することを可能にし、容器の深い所まで到達できます。

アダプターを軽く押して所定の位置に回転させて、ハンドルにパチンと固定します。

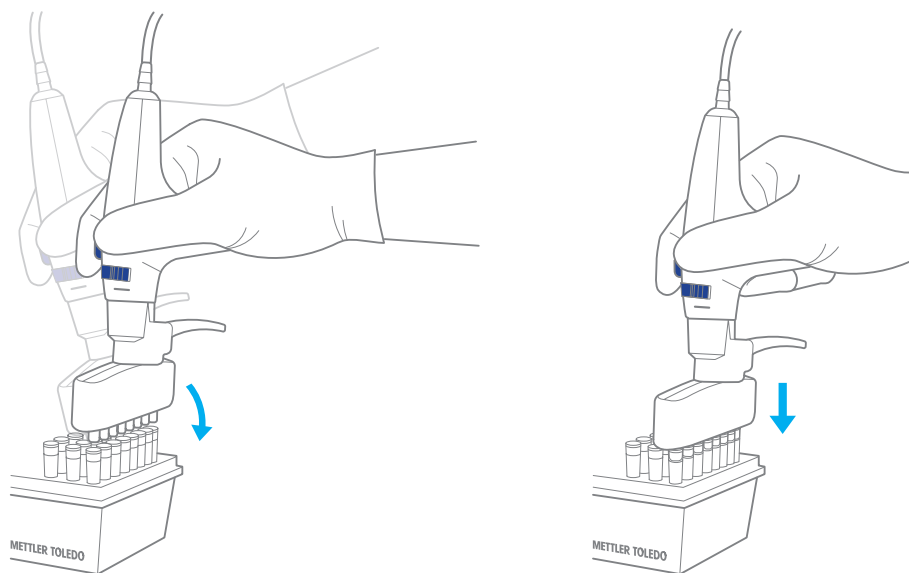
5. ベースユニットの背面の「電源」と表示されているポートに電源コードを挿入します。もう一方の端を電源コンセントに接続します。



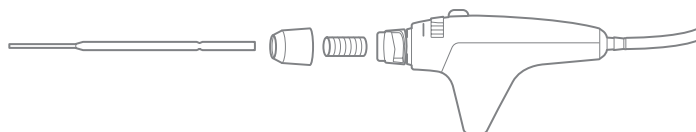
6. レイニンUNV 250 μ Lチップまたはガラス製（パストツール）ピペットを、適切なアダプターに取付けます。

注記：QuickFlowは、レイニン汎用（UNV）チップで使用するように設計されています。チップの注文については、20ページを参照してください。

- マルチチップ（8チャンネル）アダプター
マルチチャンネルピペットと同様に、十分な力でQuickFlowアダプターノズルを8チップの列に押し込み、しっかりシールします。



- シングルチップアダプター
アダプターを十分な力でピペットチップに押し込み、しっかりシールします。
- パストツールピペットアダプター
ガラスまたはプラスチックのピペットチューブをアダプターのオープン端に挿入します。



5 操作方法

操作条件

研究室では、機械を作業台上またはテーブルや床などの平らな面に置いてください。

QuickFlowの操作温度範囲は、0 °C～40 °Cです。

操作に最適な標高は、2000m未満です。

5.1 連続または非連続吸引

連続吸引

連続（常にオン）吸引は、ハンドルのオンオフボタン操作を省けるのでリラックスした操作ができます。

連続吸引モードを選択するには、ハンドル前面のスライドスイッチを左に動かします。実線が連続吸引を示します。

吸引のオンオフは、ベース電源ボタンを押して行います。

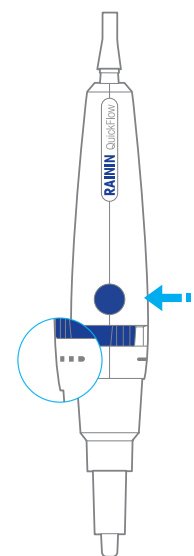
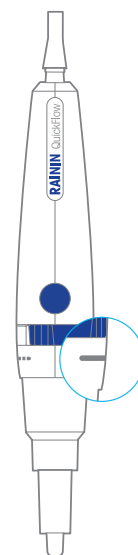
非連続吸引

吸引タスクがピンポイントのオンオフ制御を必要とするなら、ハンドルのボタンを押すことによって真空動作を起動、停止できます。これが非連続吸引です。

非連続吸引を選択するには、ハンドルの前面にあるスライドスイッチを右に動かします。点線は非連続操作を示しています。

ベースユニット前面の電源ボタンを押してQuickFlowをオンにします。

次に、ハンドル上のボタンを押して吸引します。吸引を停止するには、ボタンを放します。



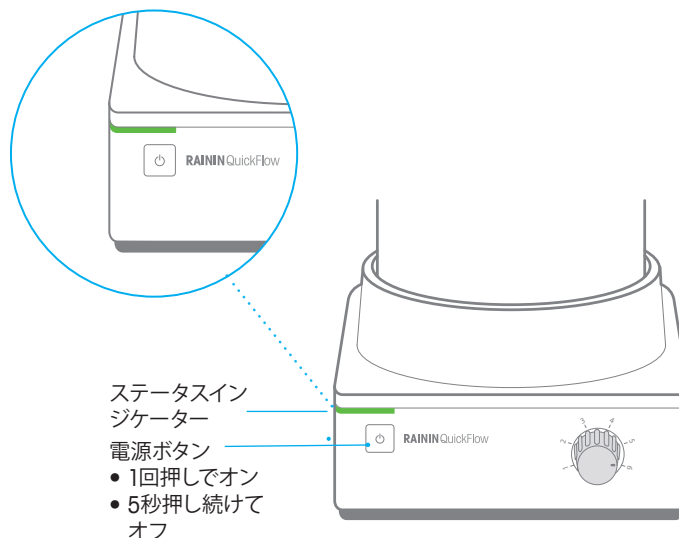
5.2 QuickFlowの電源投入と切断

警告

感電リスクを減らすために、QuickFlowを電源に接続するときは、必ず付属の電源コードを定格電源電圧で使用してください。決して電源コードを改造したり、アースされていないコンセントに接続したりしないでください。

1. QuickFlowの電源インジケータのライトがオフ/暗いことを確認します。
2. 機械に電源を投入するには、電源ボタンを1秒間押します。インジケータのライトが緑色に点灯します。ポンプの動作音がかすかに聞こえるのが正常です。

緑
稼動時

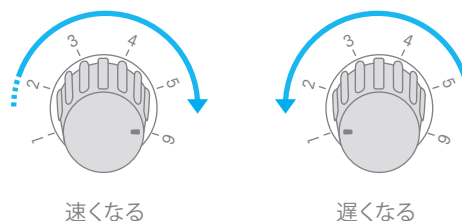


5.3 真空速度の調節

QuickFlowベースユニットには、速度ノブがあり、1（遅い）から6（もっと速い）まで回転します。最高速度は17mL/sです。

時計回りに回すと吸引が速くなり、反時計回りに回すと遅くなります。

備考：QuickFlowは、システムの気圧をリセットするために一時的に停止することがあります。



収集ボトル内の高真空圧は、速度制御を妨げる可能性があります。速度制御の妨害が発生したら、次のいずれかを行います。

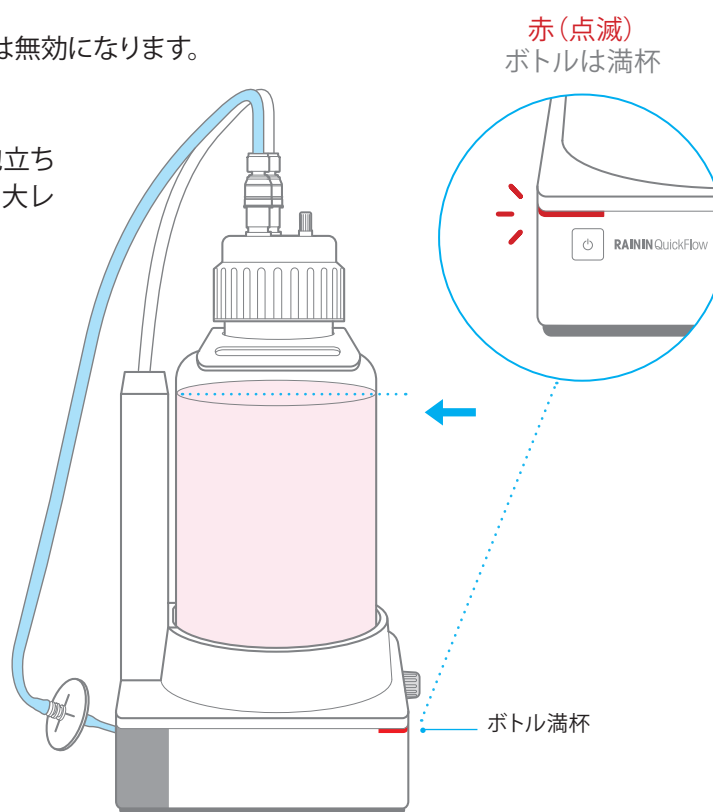
- キャップ上の灰色の圧力開放バルブを反時計回りに回して、ボトル内の圧力を均等にするか、または、
- ハンドルを使って瞬間的に空気を吸引します。

5.4 ボトル満杯：レベルセンサーと液体レベルアラート

収集ボトルが満杯になると、液面センサーがポンプの電源を切り、ボトルを空にするようにユーザーに警告します。

ボトルが空になるまでポンプは無効になります。

警告：
周囲より高い温度の液体や泡立ちがちな液体を扱うときは、最大レベルが下がることがあります。



5.5 チップの取出しまたはパストツールピペットの取外し

注記：チップまたはパストツールピペット（ガラス／プラスチック）は、真空フローがオンのときは取り外せません。

連続吸引モードを使用している場合は、QuickFlowをオフにするか、非連続モードに切り替えます。

人間工学に基づくトリッガーの設計は、チップを捨てることを容易にしています。最も使い易い指でトリッガーを引いてください。

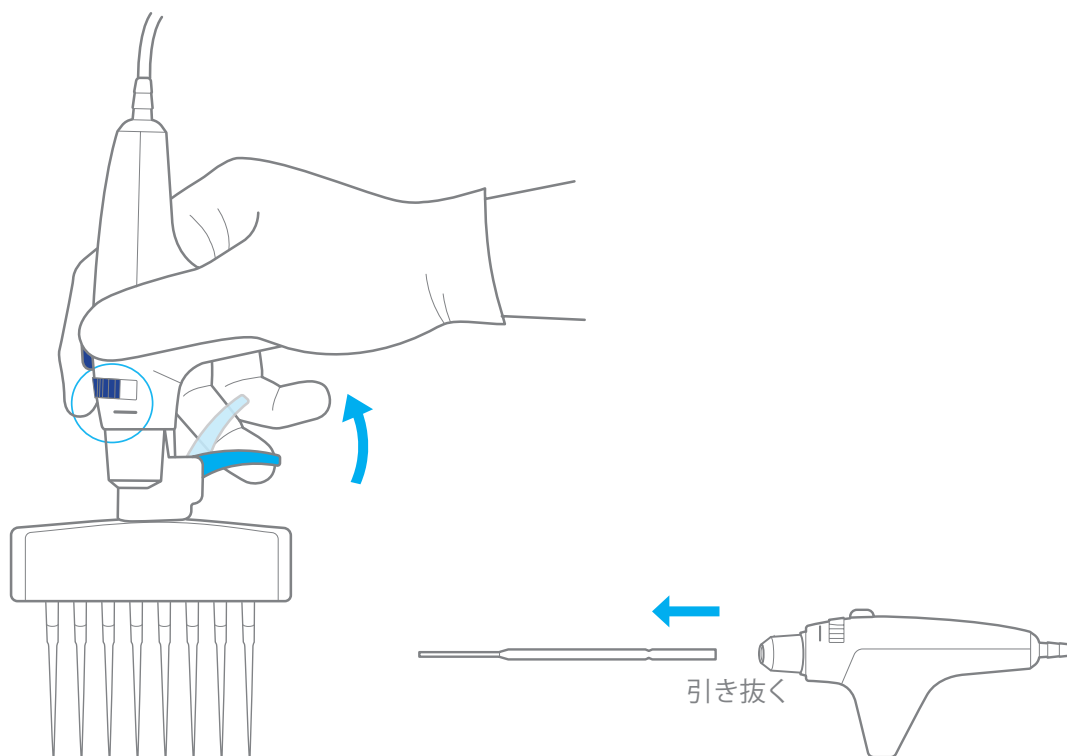


図3: チップの取出しまたはパスツールピペットの取外し

6 清掃とメンテナンス

QuickFlowのパフォーマンスを最適に保つために、吸引サイクルの最後のステップとして、水、低濃度のエタノール、または漂白剤溶液を吸引してください。毎日、または必要に応じてボトルを空にして清掃します。

6.1 ボトルを空にする

1. ベースユニット前面の電源ボタンを5秒間押して、QuickFlowをオフにします。
2. ボトルキャップ上にある灰色の圧力開放バルブを反時計回りに回して、ボトル内の圧力を均等にします。
3. 収集ボトルの上部で、青色とオレンジ色のクイックコネクターがチューブをボトルに接合させます。接続カラーを引き下げると、バネ力でチューブがコネクターから軽く「ポップ」します。液体がチューブから飛散したり、こぼれたりするのを防ぐために、もう一方の手で接続カラーを引き下ろしながら、チューブのコネクター側を片手で押さえます。チューブを両方とも取り外すために同じことを繰り返します。
4. ボトルのキャップ下にある金属製のハンドルを使用して、ボトルを持ち上げて液体処分場に運びます。
5. キャップを緩めてボトルを空にします。安全な液体媒体の廃棄については、必ずラボの方針に従ってください。

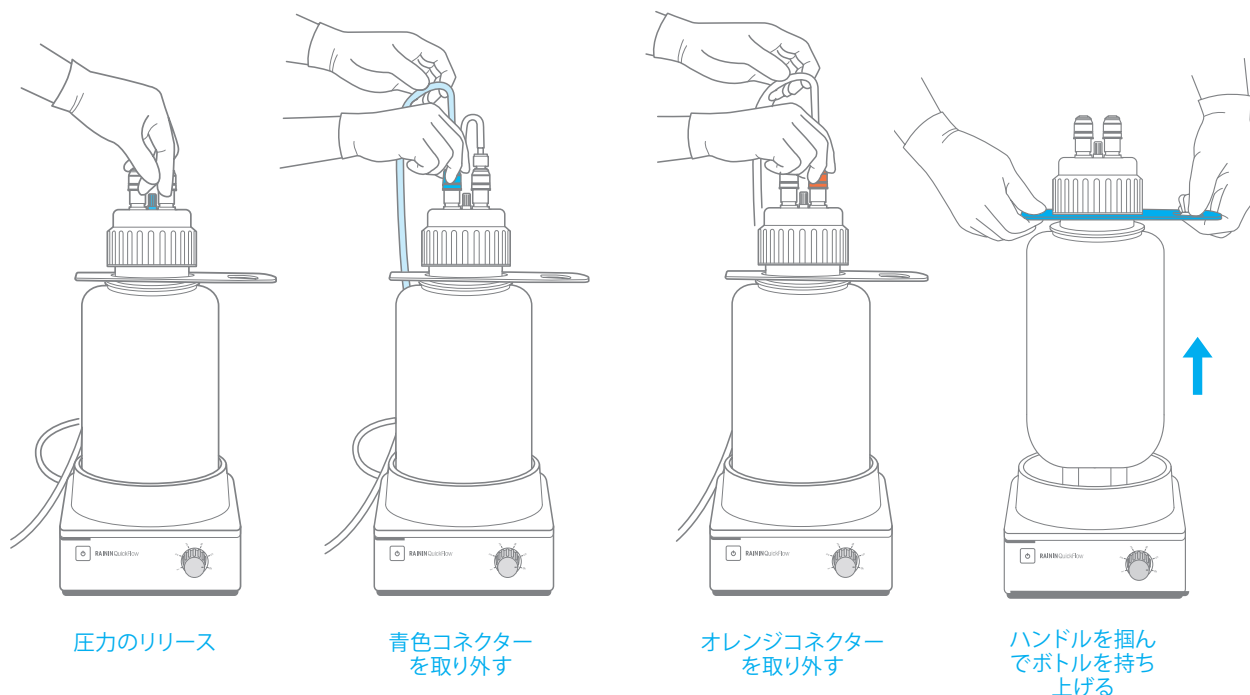


図4: ボトルを空にする

6.2 ハンドル、アダプター、ボトル、キャップのクリーニング

QuickFlowのハンドル、アダプター、キャップ、収集ボトルは、中性洗剤で簡単に洗浄できます。これらの部品は、アルコール（70%）や漂白剤（10%）溶液などの吸引液に最も適した洗浄剤を使用して、より徹底的に除染することができます。

注記：必要に応じて交換するように、アダプター用の追加OリングがQuickFlowに付属しています。

6.3 透明真空チューブのクリーニング

1. 空のボトルをQuickFlowベースユニットに置き、コネクター付きのキャップを取付けます。
2. 両方のチューブをキャップに接続します。
3. チューブから除去する物質に基づいて洗浄剤を選択します。たとえば、10%の漂白剤溶液（タンパク質性液体）または70%のアルコール（水性液体）を選択し、洗浄剤をタンクに注ぎます。
4. チューブを洗浄するために洗浄剤を20秒間吸引します。溶剤を使用しているときは常に適切な換気を確保し、個人用保護具を着用します。
5. チューブを外し、収集ボトルを空にして水で洗い流します。

6. 空のボトルをQuickFlowベースユニットに戻し、キャップを締めてチューブを接続し、ハンドルとチューブをすすぐために蒸留水を20秒間吸引します。

7. チューブを外し、収集ボトルを空にします。

6.4 オートクレーブ

QuickFlowのハンドル、チューブ、アダプター、キャップ、および収集ボトルは、121 °C、1バールで15~20分間オートクレーブ滅菌できます。

注記：キャップと収集ボトルは、オートクレーブ滅菌する前に分離しなければなりません。

重要：ハンドルをオートクレーブ滅菌するには、スイッチを不連続モード（点線）に動かして最適なパフォーマンスを維持します。

機械全体または機械の他の部分をオートクレーブ滅菌はしないでください。

7 交換部品とアクセサリー

QuickFlowの交換部品とアクセサリーの総合リストについては、最寄りの販売代理店にお問い合わせください。

7.1 フィルター（青色真空インレットチューブ）

液体がバキュームインレットチューブ内に飛散しても、フィルターが機械を保護します。

フィルターが詰まった場合は、分解してスピンドライして再利用します。フィルターが壊れた場合は、取外して新しいものと交換してください。

取付けるときは、フィルターの方向に注意してください。インジケータは「IN」が付いている側をボトルに接続します。

7.2 ハンドルハングアップ

QuickFlowを使用していないときは、ハンドルハングアップを用いてハンドルを近くの平らな垂直面に固定することができます。

接着剤の裏当てをはがして、ハングアップを近くの面に取り付けます。次に、図のようにQuickFlowのハンドルを挿入します。

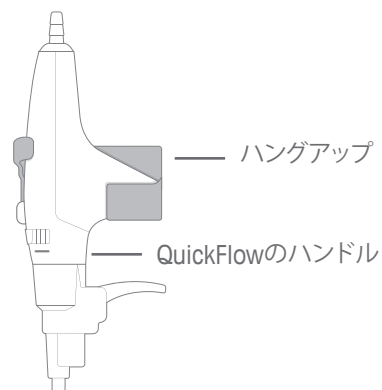



図 5：ハングアップが取付けられハンドルが中に収まった状態

8 仕様

	説明
最大吸引速度	17 mL/s (吸引ピペットの場合)
真空範囲	-20KPa ~ -70KPa
電源アダプターの入力	100 – 240 VAC, 50/60Hz
装置の電源入力	24V DC / 0.625A
寸法 (幅/奥行き/高さ)	460 x 200 x 400 mm
重量	4.016 kg (ベースユニット、ボトル、アクセサリ)
発送時の重量	5.6 kg (包装を含む)
最大液量	4L
チューブ直径	4 mm (内径)、8 mm (外径)
チューブ長さ	2 m
動作温度範囲(°C)	0 ~ 40 °C, Max. 85% RH (結露なきこと)
保管温度範囲(°C)	-30 ~ 60 °C, Max. 95% RH (結露なきこと)
電源(メーカー情報)	モデル: PSA 15R-240P 製造業者: PHIHONG 製造業者の住所: Keji Road Yinhu Industrial Park, Qingxi Town Dongguan City, Guangdong Province, China

9 トラブルシューティング

トラブルシューティングを行う前に、QuickFlowの電源を完全に切り、電源アダプターを装置から必ず取外してください。

問題	考えられる原因	対処方法
装置が動かない	電源 スイッチがオフになっている	スイッチを押してデバイスをオンにします。
	電源が接続されていません	電源アダプターを取付けて、オンにします。
	メインPCボードの不具合*	下記の免責事項をご覧ください。
ポンプが止まらない	エア漏れ	キャップがしっかり閉まっているかを確認する。 ハンドルが非連続モード(スイッチが点線に移動している)であるかを確認する。 圧力開放弁が閉じているかを確認する。 接続チューブがすべての接続ポイントで密閉されているかを確認する。
	ポンプの不具合*	下記の免責事項をご覧ください。
	メインPCボードの不具合*	下記の免責事項をご覧ください。
吸引が遅い	吸引速度が最小値に設定されています。	速度制御の部分を時計回りに回して、速度を上げます。
	チューブが詰まっています。	チューブを調べて、洗浄してください。必要ならば交換します。
	フィルターが詰まっています。	ボトルを空にしてフィルターを交換してください。
	エア漏れ	キャップがしっかり閉まっているかを確認する。 圧力開放弁が閉じているかを確認する。 チューブコネクターを調べて、密閉されているか確認します。
	ポンプの不具合*	下記の免責事項をご覧ください。
ボトル満杯アラートの誤作動	ボトルの内壁が汚れています。	石けん水、70%のアルコール、10%の漂白剤溶液などの洗浄剤でボトルを洗浄します。
	電磁障害でレベルセンサーが機能していません。	電磁障害の源を特定して、除去してください。
	液体が高粘性または気泡過多です。	ベースユニット上でボトルをできるだけ前進させます。
	ボトルの内壁で液体がはねています。	キャップ内のチューブが曲がっているかを確認します。チューブを真っ直ぐにしてください。
	センサーの不具合*	下記の免責事項をご覧ください。
電源の機能不全	N/A	機器の電源を直ちに切って、電源アダプターを機器から取外し、技術サポートまたはお近くのメトラー・トレドのサービス部門に連絡してください。
		決して機器のカバーを開けて、電源問題を解決しようとししないでください。詳しくは、5ページのセクション2.1をご覧ください。

* これらの事象が発生した場合は、直ちに機器の電源を切り、電源アダプターを取外し、お近くのメトラー・トレドのサービス部門に連絡してください。窓口については22ページをご覧ください。

10 互換性のない液体と物質

QuickFlowは、希釈していない腐食性化学品を吸引するの使用しないでください。

11 注文情報

品番	説明
30519826	吸引装置、QuickFlow 4L
30519824	QuickFlow/ハンドルキット – 標準
30519825	QuickFlow/ハンドルキット – スプリッター付き
QuickFlowアクセサリ	
30524505	ボトルキット、QuickFlow 4L
30524507	アクセサリ：ハンドル/ハンガアップ
30520489	2 µmフィルター – チューブ付き
レイニンQuickFlow向け汎用チップ	
30389191	250 µL汎用 (UNV) チップ、RT-ラック入り
30389193	250 µL汎用 (UNV) チップ、RT-ラック入り、滅菌済
17014976	250 µL汎用 (UNV) チップ、TerraRack™入り、滅菌済

12 保証

保証の制限と免責について

売主は製品が仕様書に適合することを保証します。売主の意図に反する目的あるいは方法で使用された製品、売主による事前の書面による承諾なしにカスタマイズもしくは改造された製品、損傷している製品、あるいは誤用された製品に関して、いかなる場合でも、申し立てられた不適合に対して、売主が責任を負うことはありません。保証が不履行になった場合、買主に対する唯一の救済措置として、売主は、納入後1年間、不適合製品あるいは不適合部品を売主の判断で修理もしくは交換するものとします。あらゆるクレームは書面で売主へ提示しなければなりません。上述の期間内に為されていないクレームは、放棄および免除されるものとします。

前述の保証に関する規定をもって、明示的あるいは黙示的、書面あるいは口頭（商品性、特定目的への適合性、権原および非侵害（についての保証を含む）を問わず、他のあらゆる保証に代わるものとします。製品の製造、販売あるいは供給、製品の使用、製品の処分から生じている売主の責任は、保証、契約、不法行為に基づくか否かに拘わらず、どんな理由であれその製品に対して買主によって支払われた総計購入価格を越えないものとします。いかなる場合においても売主は、製品の製造、販売、供給、使用、マーケティング、再販あるいは動作から生じた、特別損害、付随損害、結果損害あるいは懲罰的損害（利益損失、データ損失あるいは使用不能損失を含むがそれらに限定されない）に関して、たとえ売主がそのような損害や損失の可能性について知らされていたとしても、売主あるいは他の人間あるいは団体に対して責任を負うことはありません。

コンタクト先情報

中国： 電話番号：4008 878 989
Eメール：mtservice@mt.com

北米／技術サポート： 電話番号：800 662 7027
電子メール：tech.support@rainin.com

RoW： www.mt.com/contacts

FCCステートメント

この装置はFCC規則Part 15に準拠しています。次の2つの条件に従って作動します。(1) 本機器は、干渉を生じてはならず、(2) 本機器は、望ましくない運転を生じる可能性のある干渉を含むあらゆる干渉を受けなければなりません。CAN ICES-3(B)/NMB-3(B)

定格電力と電源コードの選択について詳しくは、セクション5 – 仕様を参照してください。

www.mt.com/rainin

詳細はウェブサイトをご覧ください

メトラー・トledo株式会社
レイニン事業部

製品の仕様は変更されることがあります
© 2018 Mettler-Toledo Rainin, LLC

30532600_JA Rev A